

天理市

TENRI City

天理市のまちづくり

天理市は地域の特徴を活かしてよりよいまちづくりを進めるため、平成26年10月に県とまちづくりに関する包括協定を締結し、「天理駅周辺地区をはじめとした市西部地区」、「朝和・柳本校区を中心とした南部地区」、「福住校区を中心とした高原地区」、「樺本校区を中心とした北部地区」の計四地区において、県と協働してまちづくりを検討していくことになりました。

〈天理駅周辺地区〉

「天理駅周辺地区をはじめとした市西部地区」では、市の玄関口としての駅周辺の活性化をコンセプトに、駅前広場を文化発信やにぎわいの拠点と位置づけ、ステージやアンテナショップなどを設置する計画です。この実現に向けて、地元住民やまちづくり団体、商工関係者、県・市等を委員とする天理駅周辺地区街づくり協議会を結成し、天理駅周辺地区の空間デザインの方角性や商店街の活性化策について検討を進めています。

なお、駅前広場は平成29年4月にリニューアールオープンを予定しており、このオープンに先駆けて、農・林・食の効果的なPRとにぎわいづくりを目的に、県・市の協働によるマルシェを平成26年9月より開催しています。



▲天理駅前整備計画のイメージ



▲旧福住幼稚園を活用した「幼稚園カフェ」



▲天理マルシェ



市長に聞くと!!

並河 健

天理市長

今、全国的に地方創生が言われておりますが、これは天理市も含めて少子高齢化をはじめとした諸問題がある中で、「それぞれが持っている魅

力は何なのか」ということを市町村自らが打ち出していきながら、その魅力を最大限発揮するという施策を打っていくことが重要だと考えています。天理市には歴史・文化遺産から豊かな自然・スポーツ・音楽など全国に発信できる魅力があります。こうした魅力を最大限発揮するため、各地区において街づくり協議会を立ち上げ、まちの活性化に向けた協議を行っています。今後は県と協働して、より具体的な協議を重ねていきたいと考えています。

〈南部地区〉

「朝和・柳本校区を中心とした南部地区」では、地域の情報発信とサイクリングやノルディックウォークによる周遊観光拠点の整備とともに、今あるモノや場所を高付加価値化し、それぞれをうまくつなぐことで、歴史・文化・農・自然の魅力を活かした地域のブランド力の向上を図ります。

〈高原地区〉

「福住校区を中心とした高原地区」では、地域の強みを活かした里山での新しいライフスタイルの提案をコンセプトとしています。具体的な取組としては、旧福住幼稚園や空き家など、既存施設を活用した交流の拠点づくりやテレワークを活用した働ける場づくりとともに、耕作放棄地や遊休農地を活用した農業体験の創出を目指します。

〈北部地区〉

「樺本校区を中心とした北部地区」では、既存の資源を活用した「居場所」拠点づくり及び地域散策、観光ルートの設定など、にぎわいづくりに向けた取組を推進します。